

大学名 浜松医科大学

第64号 特集テーマ「地域の中核となる大学」

表題 浜松から世界に羽ばたく次世代医療の創造を

浜松医科大学では2022年4月、文部科学省、内閣府からの支援を頂き次世代創造医工情報教育センター(Nx-CEC)が設置された。

これまでも「ものづくりのまち・浜松」の地域性を活かして、産学官金が強固に結びついた「はままつ医工連携拠点」を形成し、研究成果を製品化する活発な活動を展開している。すでに15件の医療機器製品化を達成するなど、地域と一体になって産学連携を進めている。また、浜松市と「浜松ドローン・AI利活用協定」を結びドローンの医療分野への応用について研究を進めてきた。

今回当センターの開設は、第4期中期目標に掲げた「社会課題の解決に挑戦できるデザイン思考やアントレプレナーシップの素養を持った人材を養成するための組織を整備する」を踏まえた取組となる。1年次から継続してアントレプレナーシップ教育を行うとともに、地域のスタートアップ企業の代表や医師起業家のセミナーの開催、学生を対象としたピッチコンテストの実施や地域ベンチャー企業へのインターンシップの機会も準備するなど、医学教育とアントレプレナーシップ教育を組み合わせることで起業家精神を持った医療人を育成し、浜松市が展開するスタートアップ・エコシステム拠点都市の実現にも貢献する先進的な取り組みを実施する。

また、高度なデータ処理・分析を行い、新しい価値や提案を発見するデータサイエンスのスキルを身につけることは、デザイン思考・クリティカル思考の基盤となっている。当センターで取り組むデータサイエンス教育により、医療に焦点を当てたデータ解析やAI活用の手法を身につけた医療人を養成し、医療現場の諸課題に対して、デザイン思考・クリティカル思考に基づく医療機器やアプリケーション等の研究・開発による解決方法を探索し創出する人材を育成する。



学生ピッチコンテストの様子



ドローンの医療分野への応用